

# 平成25年度事業報告書

社会福祉法人

こどもの国協会

## 平成25年度・事業報告

### 1. 平成25年度、理事会及び評議員会の開催について

#### (1) 第73回理事会

- ・ 日 時 平成25年4月15日（月）午前11時30分～
- ・ 会 場 スクワール麹町 7F シャルマン
- ・ 議 案  
第1号議案 理事長の選定について

上記1案が審議され、佐々木典夫理事が理事長に選定された。

#### (2) 第65回評議員会

- ・ 日 時 平成25年5月30日（木）午前11時00分～
- ・ 会 場 こどもの国 自然研修センター
- ・ 議 案  
第1号議案 理事の選定について  
第2号議案 平成24年度事業報告について  
第3号議案 平成24年度決算について  
報告事項

上記3案が審議され、承認された。

#### (3) 第74回理事会

- ・ 日 時 平成25年5月30日（木）午後 1時15分～
- ・ 会 場 こどもの国 自然研修センター
- ・ 議 案  
第1号議案 評議員の選定について  
第2号議案 平成24年度事業報告について  
第3号議案 平成24年度決算について  
報告事項

上記3案が審議され、承認された。

#### (4) 第66回評議員会

- ・ 日 時 平成25年11月8日（金）午前10時30分～
- ・ 会 場 こどもの城 9F906室
- ・ 議 案

- |       |   |
|-------|---|
| 第1号議案 | 監事の選定について   |
| その他   | 平成25年度上半期事業報告<br>天皇皇后両陛下への「こどもの国の現状」報告について<br>こどもの国開園50周年記念事業について |

上記1案が審議され、羽毛田信吾氏が監事に承認された。

(5) 第75回理事会

- ・ 日 時 平成25年11月12日(火) 午後12時30分～
- ・ 会 場 こどもの城 10F1001室
- ・ 議 案
 

第1号議案	評議員、顧問の選定について
その他	平成25年度上半期事業報告 天皇皇后両陛下への「こどもの国の現状」報告について こどもの国開園50周年記念事業について

上記1案が審議され、細井博明氏が評議員、上村一氏が顧問に承認された。

(6) 第67回評議員会

- ・ 日 時 平成26年3月25日(火) 午後 1時30分～
- ・ 会 場 こどもの城 9F904室
- ・ 議 案
 

第1号議案	平成26年度事業計画について
第2号議案	平成26年度予算について
報告事項	

上記2案が審議され、承認された。

(7) 第76回理事会

- ・ 日 時 平成25年3月27日(木) 午後12時30分～
- ・ 会 場 こどもの城 11F特別会議室
- ・ 議 案
 

第1号議案	評議員の選定について
第2号議案	平成26年度事業計画について
第3号議案	平成26年度予算について
その他(報告)	

上記3案が審議され、承認された。

## 2. 入園者の動向

平成25年4月～9月の上半期の有料入園者数は458,895人で、前年同期に比べると10,181人少なく、下半期は328,499人で12,831人のマイナスとなりました。平成25年度の総有料入園者数は787,394人となり、前年度より23,012人少なかったのですが、過去20年間では前年度に次いで2番目に多い数字となりました。

### (1) 有料入園者数4000万人達成

開園からの延べ有料入園者数が5月18日(土)に4000万人を超えました。開園した昭和40年5月5日から48年かかりました。4000万人目の入園者となったのは、神奈川県藤沢市在住の家族4人連れでした。記念イベントでは、入園ゲート前でくす玉が割られ、花束のほか、家族全員の年間パスポート、こどもの国オリジナルグッズ、雪印こどもの国牧場オリジナル詰め合わせのサングリーンセットが贈られました。後続の5組にも記念品を贈りました。

### (2) プールの運営状況

平成25年7月13日(土)～9月1日(日)の45日間開場しました。有料入場者数は99,247人で、前年度に比べ1,032人増えました。月別では7月が約1600人増、8月が約2900人減、9月が約2300人増でした。大きな事故もなく無事に終了することができました。

### (3) スケートの運営状況

平成25年12月14日(土)～平成26年2月23日(日)の58日間開場しました。有料入場者数は54,617人で、前年度に比べ3,449人増えました。骨折や脱臼の怪我により救急車要請が5件ありましたが、大きな事故はありませんでした。

## 3. 実施した主な広報・渉外活動等

### (1) 出前こどもの国

実施し4年目になり、広報活動の柱の一つとなりました。実施場所は東急や小田急電鉄の駅構内や系列デパートなどで、通りがかった子どもたちに風車の工作を楽しんでもらい、PRパンフとこども無料招待券をプレゼントします。25年度は延べ26日開催しました。初めて小田急系の場所で開催したほか、横浜青年会議所主催の大きなイベントにも青葉区代表で出店しました。配布したこども無料招待券の利用率も10%前後とますますの成果で、ご家族の有料入場に結びついているものと思われます。今後も月2日ペースで情報発信に努めます。

(2) 協力企業にこども招待券配布

2012年度から協力6企業、2労組の福利厚生施策の一環として社員向けにこども招待券を無料配布しています。発行枚数は約2000枚で利用率は約10%。無料でポスター掲示に応じてくれるなど事業協力をしていただいている東急、小田急電鉄などとの連携を深めるためにも有効です。

(3) ダイレクトメール（DM）

春の遠足シーズンを前に4月、東京都、神奈川県すべての幼稚園や保育園、小学校、中学校にあてて計7千通のDMを発送しました。8月には東京都西部と神奈川県東部の中学、高校計400校にあてて、冬のマラソン大会誘致のDMを発送しました。

(4) こどもの国ニュースの発行

夏休みの8月以外の毎月、年11回の発行。47000～49000部を印刷し、うち37000部は全国の小中学校や図書館、マスコミ、官庁、企業などに送りました。約8000部は朝日新聞、毎日新聞の販売店に横浜市と町田市内で無料で新聞に折り込んでいただき、残りは園内で配布している。

(5) 特別開園日

春休みと夏休み期間中の水曜日を「特別開園日」とし、入園者の増加に努めました。

4. 平成25年度に実施した主な事業（後援等を含む）

(1) 農作業体験の催事を展開

みどりのボランティアの協力で、ボランティア畑で各種農業体験イベントを開催しました。ボランティアが育てたイモを収穫してもらう「家族でジャガイモ掘り」「家族でサツマイモ掘り」に加え、種まきから収穫までを体験する「ジャガイモを植えて育てよう」「こども農業体験」を実施しました。

(2) フォトコンテスト

25年度から春と秋の2回、園内の自然と家族をテーマに撮影した写真によるフォトコンテストを始めました。写真を通して家族の絆を深め、あわせてこどもの国の豊かな風景を楽しんでいただきました。キャノンマーケティングジャパン、アサヒカメラ、FM横浜、味の素等の協賛、後援をいただいています。過去2回の入賞写真60点の作品展を、17日～29日まで朝日新聞東京本社2階コンコースギャラリーで開催しています。

(3) 春の青空コンサート

近隣の中学校の吹奏楽部が参加して中央広場で演奏を披露する春の青空コンサートを、5月12日に開催しました。横浜、藤沢の6中学校の参加でしたが、こどもたちの情操を育む観点からも春の恒例行事に育てていきたい。

(4) ノルディックウォーキング歩こう会

日本ノルディックウォーキング協会の協力で、公認インストラクターの講師を招いて開催しています。平日の中高年の集客対策の柱の一つとして、定着したイベントになりました。

(5) サンマを炭火で食べる会

9月15、16日の2日間、恒例のイベントとして21回目の開催でしたが、台風18号の影響で1日目は雨のなかで開催。2日目は台風の進路に入り、直撃も想定されたことから休園となったため初めて中止を余儀なくされました。参加者は予定の1割の有料310人に止まりました。サンマが大船渡水揚げであったことから「がんばろう！大船渡」の復興支援募金を行い、7万円弱を義援金として大船渡市に寄付しました。

(6) 神奈川県スカウトラリー

10月27日に日本ボーイスカウト神奈川連盟が主催の「神奈川県スカウトラリー2013」が18年ぶりの開催となりました。園内全域で行われ、約4000人のスカウトが参加し、一般の入場者も楽しめるイベントもあり賑わいました。今後はこどもの国の理念とマッチングするスカウト活動との連携を改めて図っていききたい。

(7) こどもの国吹奏楽コンテスト

第32回こどもの国吹奏楽コンテストを10月20日開催しました。応募のあった中から抽選で東京、神奈川の小中学校24校の吹奏楽チームが参加し、11校に金賞、13校に銀賞を授与しました。その中から1校に与えられる最高の特別賞は羽村私立羽村第二中学校が射止めました。同じ日、中央広場で10校が「青空コンサート」を開きました。

(8) こどもの国少年サッカー大会

第32回こどもの国少年サッカー大会を11月9日、10日、16日に開催、東京都と神奈川県の近隣6市から選抜された小学低学年（1、2年生）、小学中学年（3、4年生）、小学高学年（5、6年生）の各14チームが優勝を争いました。また、第31回大会から設けられた少女の部では、前年より2チーム多い6チームの枠を設けました。

#### (9) こどもまつり

閑散期の恒例イベントとして定着させるべく2回目の開催を11月30日と12月1日の2日間実施しました。中央広場を中心に竹細工や折り紙などのむかしの工作、綿菓子やポン菓子の実演販売、パフォーマンスショー、さつまいも掘りなどをしました。横浜市や東京都町田市、東急線、小田急バスなどのゆるキャラ11体を集めて撮影会などを開き、物産や地域PRのコーナーも設け、来園者に好評でした。自治体や企業との連携の新しい試みとなりました。

#### (10) ウメまつり

2月15日から3月2日までの土日に開催しました。和太鼓演奏や大道芸、工作、昔遊びコーナー、ホットミルク無料配布などのイベントを開きました。お祭り気分を盛り上げる世界の料理の屋台も出しました。ただ計6日間の期間中、2月に大雪による臨時休園で2日間、3月は雨で2日間が中止となり、残念でした。

#### (11) ツバキまつり

椿の森を維持、管理しているみどりのボランティアの活動成果を披露する恒例の「ツバキまつり」を、これまでの会期を1日拡大し、3月21～23日の3日間で開催しました。椿の花の展示や苗木即売、椿のコサージュ工作、竹細工コーナー、ゲームコーナー、椿の木のペンダント、マシュマロ焼き、焼きしいたけなど多彩なイベントを実施し多くの家族連れに楽しんでもらえました。また、東急電鉄には事前に駅にポスター掲出していただくなど、広報面で力添えをしていただきました。

#### (12) 桜まつり

春休み期間中の3月26日から4月6日まで連続12日間、開催しました。中央広場を中心に食べ物屋台、サクラのかざぐるま教室、パフォーマンスショーなどを催しました。最終日の6日には、初のJAXA講演会を開きました。イブシロンロケット開発のプロジェクトマネジャーの森田泰弘教授が、抽選で当選した親子約350人を前に日本のロケット技術の素晴らしさや宇宙について話してくれました。

#### (13) 地域との連携について

ア 横浜市青葉区役所で11月3日開かれた「青葉区民まつり」に模擬店を出して園内で採れたギンナンを販売し、無料のかざぐるま工作を展開しました。

イ こどもの国周辺の17の自治会から成る「奈良町連合自治会」が実施する「親

と子の集い」を夏と冬に開催し、入園無料で、夏はプール（7月29日・30日）を、冬はスケート（12月14日）を無料で利用していただきました。

ウ 青葉消防署による自衛消防操法訓練（8月上旬から10月までの平日）、消防隊員の消防車両の走行訓練（12月9日～12日）、青葉区保健福祉センター注射（1回）の実施会場として、駐車場を無料開放しました。一方、青葉消防署に依頼し、11月9日に防災体験フェアとして、はしご車乗車、起震車による地震体験、消防音楽隊のドリル演奏などを開催してもらい、密な連携を図りました。

#### （14）総合的学習の一環として実施されている職場実習体験の受入れ

町田市や横浜市などの中学校生徒計24人を受け入れて、牧場での牛舎清掃、改札や駐車場での作業、雑木林の清掃や散策路の整備などの園内環境整備を体験してもらいました。また、麻布大学獣医学部、東京農業大学や農業・動物専門学校生31人の実習を、こども動物園等牧場施設で、6日間～1カ月半の日程で受け入れました。さらに、地元の奈良小学校の2年生によるチューリップの球根の植え付け、5年生による竹林整備作業を受け入れました。

### 4. 助成等による主な事業の実施

#### （1）こどもの国春まつり、秋まつり（朝日新聞社助成）

春まつりを5月3日～5日の3日間開き、計約5万人の入園者がありました。テレビのヒーローショー、工作教室、自然スタンプビンゴ、あそびの広場が人気でした。秋まつりは10月6日～8日の3日間開き、テレビで人気のキャラクターショーのほか、家族みんなで汗を流す「秋の体力測定」やフラフープ、けん玉、なわとびなどに挑戦していただきました。

#### （2）ジャンボカルタ取り、どんど焼き（テレビ朝日福祉文化事業団助成）

1月2日、3日に縦横約1mのジャンボカルタを使って、ジャンボカルタ取り大会を開催。1月12日には中央広場でどんど焼きを行い、先着300人の子どもたちに焼きいもをプレゼントしました。

#### （3）児童福祉施設駅伝大会（資生堂社会福祉事業財団助成）

11月16日、神奈川県内の児童福祉施設の子どもたちが参加する児童福祉施設駅伝大会と児童福祉施設女子駅伝大会が開かれました。1月18日には同じ施設の子どもたちや職員が参加する養護施設卒業生送別マラソンが開かれました。資生堂社会福祉事業財団は、区間賞メダルやドリンクを提供しました。こどもの国協会も後援として協力し、施設や設備利用料などを免



除しました。

(4) 牧場まつり（雪印こどもの国牧場主催）

11月3日に開催されました。牛の爪切りを行う削蹄ショー、バターづくり教室、チーズづくり教室、紙芝居や試飲、試食などの食育イベントなどを催しました。

5. 催事の実施状況

年間通じて数多くの催事を開催しました。（別表「2013年度こどもの国の月別催事表」を参照）

6. 助成等による施設整備

(1) 国庫補助事業

キャンプ場と野外炊事場は、多くの団体に利用されていますが、施設の老朽化が進んでおり、利用児童の安全や衛生的な利用を確保するために工事を実施しました。給水管改修工事も行いました。

(2) 大型遊具「立体迷路キューピックランド」の整備工事

平成7年度に日本宝くじ協会の助成により設置した立体迷路遊具「キャトルズ」は古くなり交換部品の在庫もないことから撤去し、やはり宝くじ協会の助成で「立体迷路キューピックランド」を設置しました。キューピックランドは屋外遊具ではあまり例のない3次元に仕組まれた、学習要素を取り入れた獨創性のある遊具です。

(3) 牧場牛舎の建て替え工事

こどもの国開園前に建設されて50年が経った牛舎を、雪印メグミルクが建て替えました。古くなって大規模な修繕が必要になったうえ、来年度にはこどもの国が開園50周年を迎えるためです。乳牛を間直に観察できるよう見学通路を設けるなど、より見学しやすい施設となりました。堆肥処理施設の改修も行いました。

6. その他

○ 東日本大震災の被災者支援

平成23年3月11日の大震災以降、こどもの国は被災者に対し、入園料金、夏季のプール及び冬季のスケート利用料金を無料としています。また、被災者支

援を行うNPO法人などの団体にも可能な限り協力しています。福島のごどもたちを神奈川に招待し、「緑豊かなごどもの国で自由に遊ばせたい」との要望が支援団体からあったことから、研修センターの宿泊も無料で協力しました。支援の対象者は入園者 337 人、宿泊者 98 人でした。

